

METAR

【第27回】METAR

気象の杜をご覧いただきありがとうございます。

皆さんは「METAR(メター)」をご存じでしょうか。航空業界に関心のある方でしたら一度は見聞きしたことがあるかもしれませんね。METARとは Meteorological Aerodrome Report の略であり、日本語では「定時飛行場実況気象」と言います。航空機の運航に必要な飛行場の気象現況を短い電文形式にしたものです。航空自衛隊が管理する飛行場では気象隊が気象観測を実施し24時間365日休むことなくMETARを送信しています。

では、実際にMETARがどのようなものかご覧いただきましょう。

METAR RJSM 010300Z 28005KT 9999 -SHRA FEW015 BKN030 BKN050 20/17 Q1001
①地点 ②日時 ③風向風速 ④視程 ⑤天気現象 ⑥雲量・雲底の高さ ⑦気温 ⑧気圧(hPa)
露点温度
RMK 2CU015 5CU030 6CU050 A3002
⑨雲量・雲形・雲底の高さ ⑩気圧(inHg)

要素をひとつずつ説明していきます。①はそれぞれの飛行場に割り振られた地点略号であり、「RJSM」は三沢飛行場を指します。②の日時は上2桁が日付を指し、下4桁が協定世界時(日本時間にする場合+9時間)を指します。この場合1日の日本時間12時00分となります。③は上3桁が風向、下2桁が風速を表し、280度方向から5ノットの北西風が吹いていることを意味します。④の視程は飛行場から視認できる最大距離をメートル単位で表し、「9999」は10キロメートル以上を意味します。⑤は天気現象を表しており、「-SHRA」は弱いしゅう雨(にわか雨)を意味します。⑥⑨は最初の3文字が雲量を表し、最後の3桁の数字は雲底の高さ(×100フィート)を意味します。雲量はFEWはFew(少しの)、SCTはScattered(散在している)、BKNはBroken(すき間あり)、OVCはOvercast(全天を覆う)の略で、FEW<SCT<BKN<OVCの順で多くなります。⑦は左側が気温、右側は露点温度を表します。⑧⑩は気圧を表し、それぞれ単位が異なります。



ここまで、METARの要素について説明しましたが、これらの要素の中で特に気にすることが多いのは④の視程と⑥の雲底の高さです。安全に離発着するためには、飛行場の視界がどれだけ確保されているか、雲を抜けてから滑走路を視認できるかが重要だからです。気になる方は是非インターネットを活用して詳しく調べてみてください！

最後に、今回はMETARを紹介しましたが、全世界の飛行場のMETARはインターネット上でどなたでも閲覧することができます。今後、旅行などで航空機を利用される際はもちろん、航空自衛隊の航空祭に参加される際にはぜひともMETARをご覧いただき、飛行場の気象状況をいち早く入手してみてください！

※ 1フィート=30.48センチメートル

